

京都のコンテクストを多角的に捉え、
都市を新たに表象する方法を学ぶ9日間

最終講評会

[日時]

2017年6月15日(木) 12:00-14:00

[場所]

プラザKIT

[ゲスト]

パトリック・ヘイツ
フランソワ・シャルボネ

参加無料・聴講自由

Theme

Inside and Outside of KYOTO

Reframing boundaries of KYOTO

見える/見えざる京都——都市京都の境界を再読する



[photo: Kaoru Iwamoto]

Schedule

Monday 5 - Thursday 15 June, 2017

2017年6月5日[月]—15日[木]

Venue

East Building No. 2, 4F E2-401, Kyoto Institute of Technology
京都工芸繊維大学 東2号館4階401

Summary

都市の境界とはどこに、どのようにあるのか。

コンテクストが明示的な西欧都市と異なり、日本の都市のコンテクストは曖昧で多義的です。

イメージ、テキスト、サウンドを切り取り、編集することで、都市京都の内と外、見えるものと見えないものを浮かび上がらせる挑戦的プロジェクトです。

Workshop
Leader

Patrick Heiz

パトリック・ヘイツ [Made in Sàrl]

François Charbonnet

フランソワ・シャルボネ [Made in Sàrl]

ともにジャック・ヘルツォークとピーエロ・ド・ムーロンの事務所コラボレーターをつとめたのち、

2003年、スイス・バーゼルにて Made in Sàrl を共同設立。

スイス連邦工科大学 (ETH Zurich)、スイス・イタリア建築大学メンドリシオ校の客員教授を歴任。

代表作にチューリッヒ中央駅トラックアリーナ、バーゼル市立美術館コンペ案、Wアパートメントなどがある。

建築設計と並行して、建築批評、エッセイ、ルポルタージュなどの執筆もさまざまな媒体へ精力的におこなっている。